

あ げ お 議会 だより



主な内容

- 令和2年第1回臨時会
正副議長あいさつ、委員・会派構成 … 2～3ページ
- 令和元年12月定例会
主な議案、委員会審査、討論、提出議案とその結果
…………… 4～6ページ
決算審査、百条委員会、議会改革、所管事務調査
…………… 7～9ページ
市政に対する一般質問 …… 10～15ページ
委員会活動 …………… 16ページ



新たな30人の顔ぶれでスタート

1月9日、改選後初の議会として臨時会が開催され、議長に大室尚議員、副議長に長沢純議員が就任しました。その他、各常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任などが行われました。

第193号
令和2年(2020)
2月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話 048-775-9467

議長、副議長 就任あいさつ



議長 大室 尚



副議長 長沢 純

市民の皆様には、平素より市政ならびに市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

私たちは、1月9日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、議長ならびに副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。微力ではございますが、公平公正かつ円滑な議会運営に最善の努力

を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、市議会では、私有地のブロック塀などを公費で撤去・新設するという不適切な工事が行われたことを受け、当該工事に関する調査特別委員会を設置し、報告書を取りまとめるとともに、証言拒否や虚偽証言をした証人の告発手続きをいたしました。このように、二元代表制の一翼として、市行政を監視する役割を果たすことはもちろんのことでございますが、市議会といたしましても、議員一人ひとりがコンプライアンス意識を徹底し、市民の皆様の信頼を得られるよう、再発防止に取り組んでまいります所存でございます。

また、これまで市議会で進めてきた議会改革につきましては、昨年6月から委員会の録画配信を開始するなど、市民の皆様により開かれた議会を目指してまいりました。今後も議会の円滑な運営や活性化を図るため取り組んでまいります。

市議会といたしましては、上尾に住んで良かったと思える魅力あるまちづくり、そして、本市の発展のため、市民の皆様と共に全力を尽くしてまいります。

今後とも、市議会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

一部事務組合議会議員

地方公共団体の事務の一部を効率よく広域で処理するために、一部事務組合を設けることができます。上尾市が構成団体となっている一部事務組合は二つあり、その組合議会に一定数の議員が選出されています。

- 埼玉県都市競艇組合議会議員（15団体、定数28人）
大室 尚
- 上尾、桶川、伊奈衛生組合議会議員（3団体、定数12人）
星野 良行 渡辺 綱一 平田 通子 道下文男 井上 茂

選挙管理委員

上尾市選挙管理委員と同補充員の任期が、2月2日で満了となるため、その選挙が行われました。結果は次のとおりです（敬称略）。任期は、令和2年2月3日～令和6年2月2日です。

- 選挙管理委員
日水 正敏 鈴木 博 前島 義光 大木 保司
- 選挙管理委員補充員
大場 玲子 本田 直子 野本 一人 菅田 泉

各会派の構成

彩の会（9人）

○星野 良行 田島 純

原田 嘉明 尾花 瑛仁

新道 龍一 田中 一崇

大室 尚 渡辺 綱一

深山 孝

政策フォーラム・市民の声あげお（7人）

○浦和 三郎 樋口 敦

荒川 昌佑 矢口 豊人

海老原直矢 鈴木 茂

井上 茂

日本共産党上尾市議団（5人）

○平田 通子 轟 信一

新藤 孝子 戸口 佐一

池田 達生

公明党上尾市議団（5人）

○道下 文男 井上 智則

戸野部直乃 前島 るり

長沢 純

会派に属さない議員（4人）

津田 賢伯 佐藤恵理子

小川 明仁 秋山かほる

※○は会派の代表を示し、代表以外は議席番号順です。

各常任委員会委員長などを決定

上尾市議会では、議案審査を行うために四つの常任委員会を設けています。議員は、今後2年間、常任委員として所管部門に属する事務についての調査や議案、請願などの審査に当たります。(◎が委員長、○が副委員長)

総務常任委員会

所管事項

市政の企画・調整、広報・広聴、財政、市税、財産管理、市有建築物の建築・修繕、防災・危機管理、交通・防犯など

◎新道 龍一 ○原田 嘉明 井上 智則 荒川 昌佑 小川 明仁 深山 孝 海老原 直矢 池田 達生

文教経済常任委員会

所管事項

環境保全、廃棄物、農業・商工業の振興、学校教育、生涯学習、スポーツ振興など

◎鈴木 茂 ○秋山 かほる 尾花 瑛仁 矢口 豊人 大室 尚 前島 るり 平田 通子

都市整備消防常任委員会

所管事項

都市計画、市街地整備、建築行政、開発行政、公園・緑地、道路・橋りょう、上水道、下水道、河川、消防行政など

◎井上 茂 ○戸口 佐一 津田 賢伯 佐藤 恵理子 田中 一崇 星野 良行 長沢 純

健康福祉常任委員会

所管事項

福祉全般、子育て支援、青少年、介護保険、国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、健康増進、生活保護など

◎新藤 孝子 ○戸野部 直乃 田島 純 轟 信一 樋口 敦 渡辺 綱一 道下文男 浦和 三郎

議会運営委員会

議会運営のため議員間の意見調整を行い、会期、議事日程など議会を円滑に進行させるとともに、議会に関する条例・規則などの審査に当たります。

◎星野 良行 ○海老原 直矢 尾花 瑛仁 新道 龍一 荒川 昌佑 新藤 孝子 前島 るり 池田 達生 道下文男 浦和 三郎

議会報編集委員会

「あげお議会だより」の編集・発行、市議会ホームページの運用などについて協議・調整に当たります。

◎矢口 豊人 ○戸口 佐一 田島 純 原田 嘉明 轟 信一 井上 智則 樋口 敦 戸野部 直乃

令和2年第1回臨時会

市長提出議案1件を可決

議案第1号 工事請負契約の変更契約の締結について【本庁舎外壁・防水等改修工事】

討論 反対・無会派 (秋山) なぜこの工法を選んだか、明確な答弁がなかった。また、工事が終わらないと詳細が出せないということでは、金額が適正かどうかの判断や市民への説明などができず、議員の責務が果たせない。

◎議案第1号賛否一覧

※○=賛成 ※×=反対 ※議長は採決に加わりません。

彩の会				政策・市民の声				共産党				公明党				無会派														
田島純	原田嘉明	尾花瑛仁	新道龍一	田中一崇	星野良行	大室尚	渡辺綱一	深山孝	樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	鈴木茂	浦和三郎	井上茂	轟信一	新藤孝子	戸口佐一	池田達生	平田通子	井上智則	戸野部直乃	前島るり	長沢純	道下文男	津田賢伯	佐藤恵理子	小川明仁	秋山かほる	
○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×

令和元年12月定例会
審議された主な議案

12月定例会では、市長提出議案23件、議員提出議案2件、委員会提出議案4件の計29件を審議し、このうち28件を原案のとおり可決・承認・同意・異議なき旨答申し、1件を否決しました。また、9月定例会で閉会中の継続審査とした平成30年度各会計歳入歳出決算認定議案6件のうち、5件を認定し、1件を不認定としました。

Pick Up

12月定例会の主な議案

議案第52号 平成31年度上尾市一般会計補正予算(第6号)
平成31年度上尾市一般会計補正予算を可決

歳入歳出補正額 5億9839万9000円

台風による被害への対応

- 台風第19号により土砂などが流入した平方土地改良区の農地について、堆積した土砂などを撤去
- 台風第19号により発生した災害廃棄物の処理を実施

4億4000万円
【翌年度へ繰越し】

4582万円

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で出された主な質疑についてお知らせします。

都市整備消防常任委員会

台風被害への対応

補正予算

〈メモ〉令和元年10月に発生した台風第19・21号による災害対応のため、土のう設置や土砂撤去を行った結果、賄えなかった予算を増額補正するもの。

委員 修繕の主な内容は。

答 土のうは市内全域に対し、合計2178袋配布した。土砂撤去は、主に荒川沿いのサイクリングロード、開平橋付近の平方の上宿地区を中心とした地域、平方土地改良区に接続する道路を行った。

総務常任委員会

条例制定

市職員の給料月額を引き上げ

〈メモ〉人事院勧告に準じて、若

答 令和3年3月からの予定である。

文教経済常任委員会

将来的な平方幼稚園の閉園を審査

条例制定

年層を中心に給料月額引き上げを行うもの。
委員 人事院勧告には従わなければならないのか。他市の状況は。
答 情勢適応の原則という職員の給与に適用される原則があり、社会情勢を考慮して必要な措置を講ずるという観点から、人事院勧告に準拠している。県内40市中36市に調査を行った結果、36市全てが人事院勧告に準拠していた。

閉会中の継続審査は否決

本条例案に対し、委員から「市政に対する信頼と信用を取り戻すため、しばらくは現状のままとする必要があると考える」などの理由から、閉会中の継続審査を求める動議が提出されましたが、賛成少数で否決となりました。

健康福祉常任委員会

マイナンバーカードが健康保険証と一体化

補正予算

〈メモ〉マイナンバーカードを保険証として利用できるようにするためのシステム改修を行うもの。今後、薬剤や特定健診などの情報も確認可能となる。

委員 いつから保険証の代わりとして使えるようになるのか。

答 令和3年3月からの予定である。

文教経済常任委員会

将来的な平方幼稚園の閉園を審査

条例制定

〈メモ〉現在、平方幼稚園は、園児数が定員を大幅に下回る状況が続く、管理運営費の状況や幼児教育無償化実施などの状況を考慮し、令和2年度入園児が卒園する令和4年3月の閉園を提案するもの。
委員 2回の保護者への説明会で、市はどのような説明をしたか。また、保護者から出された意見は。

答 1回目の説明会では、保護者からの質問状に沿った内容と、閉園に関する説明をした。2回目の説明会では、閉園と決定した理由と決定までの過程を説明した。保護者からは平方幼稚園の存続を希望する声を伺っている。
委員 保護者から理解を得られたという根拠を示してほしい。

答 園児数の減少や財政状況などについては理解を得られたと考えられるが、閉園については、合意を得られていないと考えている。

平方幼稚園閉園については否決

委員から「説明会でも多くの保護者の理解を得られていない。市

討論

長、教育長の誠意も感じられない」「保護者への説明や対応が不十分である。今回の提案内容について、もっと市民的な議論をしていく必要がある」「閉園について保護者が合意していないことは明らかであり、合意を得るための努力も不十分である」などの意見が出された後、採決した結果、賛成者なく、否決となりました。

※本会議の採決状況は6ページをご参照ください。

平成31年度上尾市一般会計補正予算(第6号)

反対・共産党 マイナンバーを使って一部の利用者に多額の税金を費やす増税対策そのものが問題であり、消費拡大効果も疑わしい。

平成31年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

反対・共産党 健康保険証の機能付きのマイナンバーカードを紛失した場合、これまで以上に個人情報報流出が懸念される。

市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

反対・共産党 税金の使い方に対

し市民から疑問の声が上がっている中、特別職の給与を引き上げることが市民の理解が得られない。

上尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

反対・共産党 賦課限度額の引き上げに対し、協会けんぽ並みを求め、保険料の引き下げ要求がある中で、影響を受ける市民が多く、負担も増してしまふ。

上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

賛成・無党派(小川) 平方幼稚園の果たす役割は重要だが、行政サービスの維持とそれを遂行するための財政的な根拠という観点から捉え、判断すべきと考える。

反対・公明党 施設の老朽化など課題があることは認識しているが、引き続き、地域住民や保護者に対し、納得していただけるような説明が必要である。

反対・共産党 保護者への説明や丁寧な対応が十分だとはとても言えない。全会一致で採択された請願への対応も議会軽視と指摘せざるを得ない。

上尾市平塚サッカー場条例の一部を改正する条例の制定について

反対・共産党 料金体系を見直し、大幅引き上げになるが、価格を低

廉にし、稼働率を上げ、収入を増やす努力をすべきである。

上尾市自然学習館条例の一部を改正する条例の制定について

反対・共産党 今まで無料であった和室の利用料金を有料とすることは、利用者の負担が増えることになる。

採択された請願

令和元年12月定例会において、次の請願が採択されました。

「選挙の年齢別投票結果」をHPに公開することの請願
請願者／近藤泰介

人事案件に同意

■人権擁護委員に千葉ふみ子氏・藤波政明氏・野田正氏
人権擁護委員・千葉ふみ子氏・藤波政明氏・野田正氏の任期は、令和2年3月31日で満了となるが、

3氏を再び人権擁護委員の候補者として推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

■監査委員に鈴木彬氏
監査委員・嶋田一孝氏が令和元年12月31日で任期満了となるため、後任として鈴木彬氏を選任することについて全会一致で同意しました。

12月定例会の動き

12月11日

本会議 開会、市長提出議案の上程および説明、提出議案に対する質疑、委員会付託

12月12日

委員会 総務・都市整備消防常任委員会

12月13日

委員会 文教経済・健康福祉常任委員会

12月16・17・18・19日

本会議 一般質問

12月24日

本会議 委員長報告・討論・採決、小敷谷地内フェンスブロック擁壁撤去・新設工事の経緯に関する調査特別委員長報告・採決、委員会提出議案・議員提出議案の上程・採決、閉会

令和元年12月定例会提出議案・請願などとその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎閉会中の継続審査の議案（6件）

- 議案第16号 平成30年度上尾市一般会計歳入歳出決算の認定について
※賛成者なしで不認定となりました。
- 議案第17号 平成30年度上尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第18号 平成30年度上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第19号 平成30年度上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第20号 平成30年度上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 議案第21号 平成30年度上尾市水道事業会計決算の認定について

◎市長提出議案（23件）

- 議案第52号 平成31年度上尾市一般会計補正予算(第6号)
- 議案第53号 平成31年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第54号 平成31年度上尾市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第55号 平成31年度上尾市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第56号 平成31年度上尾市公共下水道事業会計補正予算(第2号)
- 議案第57号 上尾市職員の給与に関する条例及び上尾市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
※全会一致で可決されました(小川議員は退席)。
- 議案第58号 市長及び副市長の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第59号 上尾市職員の給与に関する条例及び上尾市技能労務職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第60号 上尾市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第61号 上尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第62号 上尾市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第63号 上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

- 議案第64号 上尾市平塚サッカー場条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第65号 上尾市自然学習館条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第66号 上尾市建築審査会条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第67号 専決処分の承認を求めることについて【台風第19号の被害による平方土地改良区の農地復旧工事費】
- 議案第68号 公の施設の指定管理者の指定について【児童館アップीलランド】
- 議案第69号 公の施設の指定管理者の指定について【児童館こどもの城】
- 議案第70号 町の区域を新たに画し、及び変更することについて
- 議案第71号 監査委員の選任について
- 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
- 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて
- 諮問第3号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

◎調査報告書（1件）

小敷谷地内フェンスブロック擁壁撤去・新設工事の経緯に関する調査特別委員会調査報告書
※全会一致で可決されました(新井議員、小林議員は除斥)。

◎委員会提出議案（4件）

- 委第2号議案 証言拒否に対する告発について【畠山稔氏】
- 委第3号議案 虚偽の陳述に対する告発について【新井弘治氏】
- 委第4号議案 虚偽の陳述に対する告発について【小林守利氏】
- 委第5号議案 上尾市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

◎議員提出議案（2件）

- 議第4号議案 自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書
- 議第5号議案 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書

◎請願（1件）

請願第36号 「選挙の年齢別投票結果」をHPに公開することの請願

◎本議会において賛否が分かれた議案

※○=賛成 ×=反対 ■=退席 ▲=除斥 ※議長は採決に加わりません。
※除斥とは、議案に対して利害関係がある場合に審議に参加できないこと。
※一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決または賛成者なしで不認定。

議案番号	議決結果	彩の会										公明党							共産党				上尾政策フォーラム			無会派		
		尾花瑛仁	新道龍一	田中一崇	斎藤哲雄	星野良行	大室尚	野本順一	渡辺綱一	嶋田一孝	深山孝	戸野部直乃	前島るり	長沢純	道下文男	橋北富雄	新藤孝子	平田通子	戸口佐一	池田達生	糟谷珠紀	海老原直矢	浦和三郎	井上茂	池野耕司	小川明仁	新井金作	小林守利
議案第18号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	原案否決	×	×	■	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○
議案第64号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
委第3号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▲	×
委第4号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	▲
議第4号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
議第5号議案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×



平成30年度 一般会計決算

不認定

決算特別委員会では、令和元年9月25～27日、10月1日の4日間にわたり、平成30年度決算の審査を行いました。この「決算審査」は、前年度の予算執行の適合性、予算に対する収入・支出の妥当性を審査し、改善点や要望を市に伝え、今後の予算や事務執行につなげる重要な役割を担っています。

今回は、小敷谷地内フェンスブロック撤去・新設工事の事業が含まれる一般会計決算に対し、事務執行の適正について厳しい質疑・意見が出され、一般会計決算については賛成者はなく不認定となりました。その他の5会計については、いずれも原案のとおり認定されました。

市民の負託に応える

公正・公平な行政運営を

小敷谷地内フェンスブロック撤去・新設工事を受けて

平成30年度一般会計決算については、6月定例会において発覚した、小敷谷地内フェンスブロック撤去・新設工事に関わる不適正な事務執行が含まれています。これについて、委員から「百条委員会も立ち上がっており、解明しなくてはならないこともある。少なくとも今回の決算については認定できない」「百条委員会の調査結果を踏まえなければ、適正かどうかという認定までは至らない」「当局の委員会報告書においても、法令に抵触しているとされており、法令違反の下に支出された公金について賛成するわけにはいかない。不正は許さないという立場を示す必要がある」などの意見が出され、「到底認められるものではない」とし、不認定となりました。

決算不認定の効果

不認定の場合でも、法的な効果はなく、市長は政治的、道義的責

任は負う形になるものの、既に行われた予算執行の効力には影響は及びません。なお、この不認定を受け必要な措置を講じたときは、市長は速やかに議会に報告するとともに、公表する必要があります。

本会議での討論

一般会計歳入歳出決算の認定について

反対・共産党 マイナンバー関連事業、自衛官募集委託事業、同和関連事業、国民保護計画推進事業、学力向上支援事業に反対する他、小敷谷地内フェンスブロック撤去・新設工事における不正な公金支出について、認定できない。

上尾市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

反対・共産党 企業会計への移行に当たり、一般会計からの繰り入れが目減りし、使用料の負担が増えることが懸念される。

上尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

反対・共産党 制度改正に伴い、介護サービス利用料の負担が増えたことから、認定できない。

上尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

反対・共産党 保険料軽減特例の見直しにより、所得割額の特例措置が廃止、変更となったことは、制度の大きな後退であると言わざるを得ない。

上尾市水道事業会計決算の認定について

反対・共産党 大口径、大量使用者の料金が大幅に軽減されたまま、市にとつては総収益が減っている中で、着水井・混和池への大規模インフラ整備を優先的に行い、市民への料金軽減につなげられるような取り組みがなされなかった。

決算の概要

歳入 619.4 億円
(前年度比 △14.2 億円、2.2%減)

歳出 600.5 億円
(前年度比 △11.0 億円、1.8%減)

決算収支(実質収支※) 18.2 億円
(前年度比 △1.5 億円、7.5%減)

※実質収支=形式収支(歳入-歳出)-翌年度へ繰り越すべき財源

小敷谷地内フェンスブロック擁壁撤去・新設工事の経緯に関する調査特別委員会 調査報告書を可決、証人3名を告発へ

令和元年第1回臨時会（令和元年8月開催）において設置された「小敷谷地内フェンスブロック擁壁撤去・新設工事の経緯に関する調査特別委員会」（百条委員会）は、元上尾市長である新井弘治氏が所有する土地上のブロック塀とフェンスの撤去・新設工事について、市が全額公費で負担し、また当該工事に前市議会議員である小林守利氏が関係していたとされる件について調査を行ってきました。

合計12回の委員会を経て、調査報告書をまとめ、令和元年12月定例会において、調査特別委員長から調査の内容と結果を報告しました。委員長報告の後、採決を行い、議会は調査報告書を全会一致で可決しました。また、証人として出頭を求めた8名のうち3名について、「証言拒否」や「虚偽の証言」を行ったと議会は判断し、地方自治法第100条第9項の規定に基づ

き、告発することを決定しました。

主な調査の結果（調査報告書から要約して抜粋）

・当時の都市整備部長および道路課長は、新井元市長の依頼を受けた小林前議員から本件工事の要望を受け、本来守るべきルールを逸脱して工事を決定し、競争入札を回避するために1本の工事を7本に分割し、随意契約により小林前議員の子が経営する会社と各工事請負契約を締結することを決定した。

・畠山市長、新井元市長、小林前議員は平成30年2月に会食を行った。

・小林前議員は本件工事について、新井元市長から依頼を受け、担当部局に要望活動を行った。その後、現地調査に立ち会うなど、本件工事を市が施工するに至るまで、重要な役割を果たしている。

再発防止策の提言

行政が行うべきこと
● 契約事務の見直し

地方自治法に基づく契約事務履行の遵守の徹底／契約事務のガイドライン策定／随意契約は契約の相手方の選定理由を明示／各課に（仮称）契約審査主任を配置 など

職員倫理条例の制定

上司を通さずに外部機関に直接通報する仕組みの構築／通報・告発した職員が不利益などを被ることのない仕組みの構築／議員および上司からの要望・指示の記録や保存など

議会が行うべきこと

議員の親族が役員をしている企業は市との工事請負契約を辞退することなどや、議員が職員に対し要望などを行う際の規律を定めた議員政治倫理条例の制定／議員は市の人事に関与しない など



調査報告書は市議会ホームページに掲載の他、市役所1階「情報公開コーナー」で閲覧できます。

告発する議案が可決

証人喚問において「証言拒否」や「虚偽の証言」を行ったとして、畠山市長、新井元市長、小林前議員を告発する議案が提出され可決されました。令和元年12月25日付けでさいたま地方検察庁に告発書を提出しました。

畠山市長 （証言拒否）

令和元年10月25日に行われた証人喚問において、会食した場所と誰が支払いをしたかについて、正当な理由がないのに証言を拒んだ。

新井元市長 （虚偽の証言）

令和元年10月24日に行われた証人喚問において、畠山市長に電話をしたことはないと言明したが、畠山市長の携帯電話の留守番電話に新井元市長の声が残っていることが判明した。また、工事開始の案内があったにもかかわらず、連絡なく工事が行われたと証言した。

小林前議員 （虚偽の証言）

令和元年10月25日に行われた証人喚問において、ブロック塀積み増し分の工事費用について、自己の証言に沿う形に改ざんされたと思われる記録を提出した（元号と日付の不一致）。

平成28年6月～令和元年12月

議 会 改 革

議会改革特別委員会は平成28年6月から令和元年12月定例会まで、28回にわたり協議を重ねてきました。今号では検討項目のうち、結論が出たものについて、概要をお知らせします。今期の議会改革特別委員会は12月定例会をもって終了しましたが、改選後の議会においても「上尾市議会らしさ」を追求し続けながら、議会改革、議会活性化のさらなる推進を行います。

予算特別委員会の設置

一般会計当初予算を審査する予算特別委員会について、令和2年3月定例会から実施することを決定しました。また、予算特別委員会を開催するために必要な事項を定めた「上尾市議会予算特別委員会実施要領」を制定しました。

傍聴の委員長許可制から自由公開制へ

委員会の傍聴について、委員長許可制から自由公開制へ移行すると共に、「上尾市議会委員会条例」の改正や「上尾市議会委員会傍聴規程」などを制定しました。

常任・特別委員会の録画配信を実施

委員会の録画配信を開始し、「上尾市議会インターネット議会中継要領」を制定しました。

CD-ROM版会議録の議員配布廃止

CD-ROM版会議録の議員への配布を廃止すると共に、「上尾市議会会議規則」を改正しました。

平成30年7月～令和元年12月

所管事務調査

各常任委員会は、議会から付託された事件（議案・請願など）の審査以外にも、自主的に所管事務を取り上げ、調査しています。各常任委員会で実施した所管事務調査の項目を紹介します。

総務常任委員会

- H30.7.27 「平成30年度上尾市総合防災訓練の概要」「避難所運営会議の進捗状況」
- H31.2.5 「事務区長制度」

都市整備消防常任委員会

- H30.7.27 「雨水対策」
- H30.10.11 「戸崎公園」
- H31.2.7 「上尾丸山公園の整備状況」

文教経済常任委員会

- H30.7.27 「大規模店舗進出に対する市民生活や市内商業への影響」
- H30.11.9 「教職員の勤務実態」
- H31.1.28 「電子図書館」



健康福祉常任委員会

- H30.8.9 「上尾市の学童保育の現状」
- H30.11.8 「子育て支援センターの施設・講座および介護予防教室（みのり倶楽部）の視察」
- H31.1.16 「上尾市立保育所における保育士の勤務実態」
- R1.7.30 「西保健センターおよび市内障害福祉サービス事業所の視察」

他市からの行政視察

- 10月29日 愛知県東郷町議会 「シティセールス戦略に基づくシティプロモーション(シティセールス)事業について」
- 10月31日 愛知県瀬戸市議会 「上尾市公共交通について」「自転車を活用したまちづくりについて」
- 11月7日 岡山県岡山市議会 「放課後児童クラブ(学童保育所)の運営について」
- 11月8日 山形県寒河江市議会 「議会における災害発生時の対応について」「常任委員会の動画配信について」
- 11月13日 福岡県大川市議会 「自転車のまちづくりについて」「中心市街地活性化について」

一般質問

?ここが問題 そこが聞きたい!

12月定例会の一般質問は、12月16～19日の4日間行われ、17人の議員が市政全般54項目にわたって市当局の見解を求めました。また、4日間で211人の皆さんが議会を傍聴しました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(2月下旬公開)。※会派名は令和元年12月定例会時点の内容です。

商工会館の工期が遅れた理由は



星野良行
(彩の会)

問 令和元年6月定例会では、商工会館は耐震補強工事の後、商工会議所が行う改修工事を行い、今年度内には改修工事も含め、終了すると聞いていた。しかし実際には、耐震補強工事は令和2年3月27日まで行い、その後、改修工事を行う予定となったようだが、工期が遅れた理由は何か。

答 耐震補強工事は、9月の入札で2度、応募者がなく不調となった。その後、11月の3度目の入札で工事業者が決定した。これにより、工事の開始時期が遅れが出た。

問 不調となった理由をどのように捉えているか。

答 2度の入札では、登録業者が現場代理人を用意できないという理由で不調となったことから、建設業界における深刻な人材不足が背景にあると捉えている。

問 そうした状況は、事前にある程度分かっていたのではないか。今後、さまざまな公共工事で、このようなことがないよう充分配慮してほしい。

商工会館の今後のスケジュールと、予算措置について伺いたい。

答 改修工事は3～4カ月かかる予定で、その後、現在の仮移転先の上下水道部庁舎から引っ越す予定である。予算措置は、現在関係部と調整中である。

その他の質問

- 防災
- 令和2年度予算編成

上尾駅前「駐輪場」は市民の利用しやすい形態に



前島るり
(公明党
上尾市議団)

問 この度、非常に厳しい形で駅前の駐輪が禁止され、大変困惑し、不便であるという声を多数頂いている。今回の取り組みの背景は。

答 放置禁止区域内に自転車を設置しないよう周知する看板設置や、自転車の撤去などを行ったが抜本的な解決には至っていない。そこで、駅周辺禁止区域内の慢性的な放置自転車の解消および条例の趣旨に基づき実施した。

問 駅前が放置禁止区域であることは承知しているが、不便を感じている市民も多いことから、駅前の比較的道幅が広い場所に「サイクルラック」を設置し、

買い物の間の1～2時間だけでも無料で停められる駐輪場を早急に設置することを提案するが、市の見解は。

答 市民の声や駅周辺の状況を注視しながら、民間駐輪場の事業者などと連携した駐輪場対策など、引き続き調査、研究を行いたい。



放置自転車解消に向けた取り組み
(JR上尾駅東口)

その他の質問

- 小敷谷保育所を始めとする保育所駐輪場の屋根の設置
- 駅前プラザ館や駅周辺のトイレ洋式化
- 「幹旋利得」や「口利き」の防止

台風19号から見えてきた
課題解決に向けて



戸野部直乃
(公明党
上尾市議員)

問 台風19号の際、行政無線が聞こえないという意見があった。今回、一部の地域で全員避難を促すレベル4が発令された。命を守るべき放送が聞こえないということはあってはならない。各家庭への戸別受信機の配備に対する考えは。

答 携帯電話やスマートフォンを所持していない世帯への戸別受信機の配備は有用なものと考えている。今後、他自治体の動向などを研究していく。

問 指定避難所で非常用電源を設置しているのは何力所か。

答 全ての避難所に小型発電機を設置済みだが、長時間使用できる

非常用電源を設置しているのは6力所である。

問 指定避難所に対する非常用電源の設置を求め、見解は。

答 非常用電源の確保は、避難者の安全、安心の観点から重要なことと考えている。

問 指定避難所の閉鎖後に、自主避難所の負担が過重となることが課題として見えてきた。市の支援が必要と考えるが、今後、どのように行っていくか。

答 今回のように要望の把握や支援物資を搬送する他、自主避難所への職員派遣など、さらなる支援体制の構築を検討していきたい。

その他の質問

● バリアフリーの再点検で優しいまちづくりを

● ロタウイルス定期接種

子ども医療費の財源づくりを



道下文男
(公明党
上尾市議員)

問 市では、0〜15歳の子どもの医療費を助成しているが、その現状について伺いたい。

答 対象者数は約2万5000人で、昨年度の決算額は約7億3000万円である。県の補助金は未就学児分の2分の1となっているが、実際は市の未就学児分約3億円に対し8000万円、実質補助率は3分の1未満である。未就学児分の残り、小・中学生分の医療費の合計約6億5000万円を市単独で負担している。

問 18歳まで拡大した場合の試算は。

答 平成31年4月1日現在の市年齢別人口調査によると、15歳

以上18歳未満の人数は6472人で、試算では年間で約1億3000万円程度かかる見込みである。

問 市単独負担が約6億5000万円、さらに約1億3000万円が乗せると財源づくりが必要である。国・県共に認識を深めてもらえるよう要望してほしい。子育て支援施策として医療費助成の今後の方向性は。

答 県の補助対象を大きく上回る助成を行っており、現行制度では財源の問題も生じる。あげお版ネウボラなどさまざまな子育て支援施策を推進しており、現時点では、子ども医療費の対象年齢引き上げは予定していない。

その他の質問

● 幸齢化社会にむけて
● 北上尾駅西口駐輪場

「議員改選後に改選前議員で行っている最終議会」の見直しを



尾花瑛仁
(彩の会)

問 本市は市議選後に改選前の議員で最終議会を実施しているが、他市と比較しても不自然である。例えば市長の不信任決議（要件は議員の4分の3以上）が成立した場合、市長は議会を解散するか失職するか選ぶこととなり、解散による市議選後の新議会が再び不信任案を提出した場合も要件が2分の1で可決となり、市長が失職する。選挙実施後に改選前議員での最終議会で、市長が議会を解散した場合、どうなるか。

答 12月1日の選挙結果での新議員の任期開始日（1月1日）が繰り上がる形になる。その新議会が再び

不信任案を提出した場合、要件は通常通り2分の1となるか。

問 つまり実質的に、本市では今定例会の不信任効力に制限がかかり、市長と議会のバランスが損なわれているとも言える。市長は議会と協議し、改選年度は定例会開会日を選挙前とすべきでは。

答 定例会は3・6・9・12月に招集するが、都合により繰り上げまたは繰り下げできると定めている。4年後は議会全体の考えを事前に行き渡らなければならない。

その他の質問

● 災害対策
● 環境センター後継施設

● 市有施設での市民サービス

放置自転車対策と同時に 有効な駐輪場の整備を



井上 茂
(上尾政策フォーラム)

問 J R上尾駅前の放置自転車に対する強化対策が実施され、自転車の置き場に困っている市民の声を聞く。広報では駐輪場が確保できない場合、公共交通機関の利用を勧めているが、安心安全に自転車を利用できるよう、放置自転車対策と同時に駐輪場の整備を行うことは、総合計画にも掲げられていることである。駅周辺の駐輪場の調査を行ったのか。

答 平成29年度に上尾駅周辺の放置自転車の実態調査を行い、放置自転車台数と周辺駐輪場の一時利用スペースの空き状況を時間ごと

に調査した。その結果、放置自転車のピーク時

でも駐輪場の空きスペースがあり、収容可能であることが判明した。このことが今回の強化対策の実施に踏み切った理由の一つである。

問 放置自転車対策実施後の実態調査と共に、短時間の駐輪に関する実態調査を行う必要があると考える。短時間の利用に対する見解は。

答 有効な駐輪場整備について、市民の声や駅周辺駐輪場の状況などを注視すると共に、民間事業者によるラック式駐輪場の設置も視野に入れ、関係機関、関係部署との協議を含め、引き続き調査、研究をしていく。

その他の質問

- 上尾市議会議員選挙職員倫理条例
- 職員倫理条例
- 随意契約

子ども虐待やDV対策の 相談員を正規職員に



海老原直矢
(上尾政策フォーラム)

問 子ども虐待やDV対策には相談体制を整備することが不可欠だが、上尾市では子ども虐待など子どもに関わる相談を受ける「子ども・若者相談員」、DVなどの相談を受ける「女性相談員」が正規職員ではなく非常勤職員である。その理由は。

答 いずれの事業においても、相談者に対して専門的な見地から支援を行う必要があることから、専門知識を持つ非常勤職員を配置している。

問 安定した形で雇用することで、優秀な人材を確保することが必要である。また、非正規雇用の女性の待遇改善が求められる中で、

改善に取り組み男女共同参画推進センターが非正規雇用を認めている状況は、今の上尾市の状況を象徴している。専門知識が必要だからこそ、正規職員として採用すべきと考えるが、見解は。

答 市でも保健師や建築技師などの専門職を正規職員として採用している。これらの専門職には、庁内で専門知識を生かせる職場・業務が複数ある。一方、質問の二つの分野の相談員は、庁内で専門知識を生かせる職域が限定的であり、正規職員としての採用は難しい。

その他の質問

- 性的マイノリティ政策・ジェンダー政策
- 学習支援事業
- 障がい者政策
- 子ども食堂

防災力の向上を



戸口佐一
(日本共産党上尾市議会議員団)

問 台風19号で被災された皆さんにお見舞い申し上げます。災害時に名前・住所を明らかにして助けを求めている人に、どう対応しているか伺うが、今回、避難勧告が出た14地区における自主防災会の数と避難行動要支援の同意者は何人か。

答 避難勧告を発令した14地区内には、31の自主防災会があり、避難行動要支援者名簿の登録者は1296人で、そのうち事前提供の同意者は275人となっている。

問 31の自主防災会のうち、事前提供の同意者名簿を受け取っている自主防災会の数は。14の自主防災会に

おいて、受け取りの実績がある。

問 17の自主防災会に名簿が渡っていないということがある。17の自主防災会に対応する避難支援同意者は、助けを待っていたが、声が掛からなかった可能性がある。現状は、各自主防災会が市に名簿の申請をし、名簿を受け取るようになっていくが、本来は市から地域の自主防災会に名簿を届け、支援をお願いするべきと思うが、市の見解は。

答 避難行動要支援者名簿の事前提供が、災害時の円滑な支援につながることから、各自主防災会からの事前提供の申請数を増やすべく、引き続き協力依頼を行う。

その他の質問

- 公共交通の充実を

企業誘致を進め、
持続可能な市の発展を



田中一崇
(彩の会)

問 令和2年の秋に完成予定のイオンモール上尾には、市民が活用するスペースや、行政が期日前投票所などに使用できるスペースは確保されているか。

答 地域住民や行政に貸し出し可能なイオンホールや、共有スペースを設置予定と聞いている。

問 雇用の増加が考えられるが、どの程度の雇用が見込めるのか。

答 事業者によると、同規模で関東圏内にあるイオンモール柏で約1600人が従業員として勤務していることから、上尾でも同規模の雇用が想定されることである。

問 市の固定資産税と

都市計画税を合わせた歳入額の推移は。

答 平成28〜30年度の間は、およそ138〜139億円で推移している。

問 イオンモールと中新井地内に建設されている大規模倉庫の立地による、固定資産税と都市計画税の増収見込みは。

答 固定資産税と都市計画税を合わせて約1億8000万円が増収見込みである。

問 固定資産税と都市計画税の使い道は。

答 固定資産税についてはさまざまな分野の行政サービスに、都市計画税については都市計画事業などに、それぞれ活用していく。

その他の質問

- 選挙投票
- 保育料無償化
- 予防接種

貢献寿命の延伸を目指して



池野耕司
(上尾政策フォーラム)

問 フレイル状態（歩幅が狭くなる、疲労度が増えるなどの状態）の予防に対する現在の取り組み状況は。

答 平成31年度から健康長寿のためのセルフケアを学ぶフレイル予防教室を実施している。現在2回の開催で受講者は合計57人である。

問 現役世代が減る一方、医療・介護費が多くなる75歳以上人口が増え続けている。そこで、それぞれの人がこれまで培った経験や知識などを生かして、社会、地域に貢献し、支え手となる「貢献寿命」を延ばすことが求められていると考えるが、市では、貢献寿命

についてどのように捉えているか。

答 市では、平成29年度から住民主体によるサービズBなどの介護予防・日常生活支援総合事業を開始している。また、生活支援サービズに従事する人材や、地域の助け合い活動の担い手となる上尾市認定ヘルパー養成講座を実施しており、高齢者が積極的に参加している。引き続き高齢者が地域で社会貢献できるような取り組みを進めていきたい。

その他の質問

- 台風19号の被害、支援状況
- 事務区運営の今後



選挙運動と政治活動の正しい理解を



小川明仁
(無党派)

問 我々議員は政治活動と選挙運動をきちんと線引きして活動しなければならぬ。選挙運動期間中に禁止される活動とは。

答 主に戸別の訪問、署名運動、飲食物の提供、氣勢を張る行為などである。

問 今回の市議会議員選挙では、選挙期間中に配布できる「選挙運動用ビラ」が認められるが、この配布方法は。

答 配布は公職選挙法第142条第6項および同法施行令第109条の6に規定されており、新聞折り込み、候補者の選挙事務所内や個人演説会の会場内または街頭演説の場所における頒布に限られて

いる。

問 町内会の回覧板で選挙運動用ビラを回覧することは可能か。また、そうした場合の責任の所在は。

答 選挙運動用ビラは頒布方法が限定され、仮に町内会で回覧した場合も先ほどの規定に抵触する恐れがある。なお、罰則は頒布した者が対象となる。

問 選挙期間中、選挙運動用自動車以外の車両を使った活動についての見解は。

答 今回の市議会議員選挙では選挙運動期間中も政治活動は原則自由に行えるが、候補者の氏名が類推されるような演説や文書図画の掲示、頒布はできないことになっている。

その他の質問

- 自転車とまちづくり
- 予算執行状況と編成

違法駐輪対策を進めて



新道龍一 (彩の会)

箇所、設置期間などを十分に協議する必要がある。

問 PAPA上尾ショッピングアベニュー前の歩道に置かれている違法駐輪は歩行者の通行に支障を来している。この状況について、商業施設管理者との協議はしてきたか。

答 平成30年に協議を行い、買い物利用者向けの駐輪場の増設と駐輪場への誘導を依頼し、対応してもらっているが、大幅な改善にはつながっていない。
問 最終手段としてパイロン、カラーコーンを設置するなどの規制についての見解は。

答 駐輪禁止の周知手段として、パイロンなどの設置は有効であるが、警察や商業施設管理者と安全対策、設置

問 原新町自転車駐車場の立体化や、平面からラック式にするなど、駐輪台数を増やして利用者が民間並みの料金で利用することができるような再整備を検討すべきと考えるが、見解は。

答 J R北上尾駅東口周辺には、市が把握しているだけで16カ所の民間駐輪場が設置されている。原新町自転車駐車場の立体化は、放置自転車数との比較の中で需要と供給のバランスを考慮しながら、その必要性について調査研究していく。

その他の質問

- 上平北小学校学童保育所
- 子ども達の安心・安全の確保

第二産業道路整備の進捗は



斎藤哲雄 (彩の会)

問 第二産業道路の進捗状況は。

答 北本県土整備事務所に確認したところ、県道上尾環状線から県道上尾蓮田線までの事業中間は、令和元年9月末日現在で用地買収進捗率が98%、工事進捗率が23%である。

問 9月定例会から工事進捗率は変化がない。県道上尾蓮田線以

北の事業化と併せて、北本県土整備事務所へ要望してほしい。

問 上尾蓮田線の都市計画区域内にあり、道路改良整備などが難しいため、今後北本県土整備事務所と冠水減少に向けた対策について協議していきたい。

問 平塚サッカー場西側区域内の道路は、抜け道として利用されるが、車がすれ違えず、緊急車両が通れないこともある。このような狭い道路の整備予定は。

答 地域住民より提出される要望書の中から、緊急性や安全性などを考慮し、工事箇所を選定し、事業を進めている。

その他の質問

- 子どもの教育環境

瓦葺・尾山台・原市南地域の諸問題



平田通子 (日本共産党 上尾市議会議員団)

場の傾向と、原市分署の耐震診断の結果に基づいた今後の計画は。

問 国道16号線の南の瓦葺・尾山台・原市南地域の人口は増え続けているが、受診できる病院が少ない。特定健診の受診率は。また、特定健診をさいたま市で受診できるようにならないか。

問 原市地区の救急出場件数は、市全体の約16%で増加傾向である。原市分署は「上尾市公共施設等総合管理計画」に基づき、耐震診断の結果などを踏まえ、耐震補強や伊奈町との消防広域化の進展など、さまざまな観点から関係各課と調整していく。

問 防災や子育てリーダーを育てるための拠点となる公民館設置を求め、見解は。

その他の質問

- 地域経済の活性化を
- 子ども居場所づくり

安心して暮らすための介護や地域医療について



新藤 孝子 (日本共産党 上尾市議会議員)

ノート」を作製した他、上尾市医師会と協働で講演会や研修を開催している。

問 団塊の世代が高齢化する中で、認知症患者は増加し、その結果「老老介護」や「認知介護」は当たり前のようになり、それに伴って、孤独死や介護疲れも今よりも増加することが予想される。こうした深刻な状況を改善するために、医療や介護は欠かすことはできない。市の在宅医療と介護の連携の状況はどうなっているか。

答 在宅診療を行う医療機関と地域包括支援センターを記した「在宅診療マップ」を関係機関や公共施設に設置している。また、医療・介護の情報を家族や支援者と共有するための手帳である「わたし

問 市内特別養護老人ホームの待機者数は。 答 令和元年10月1日現在239人で、そのうち今すぐ入所を希望している人は129人である。

問 待機者がいるのに、空床が70床あるのはなぜか。 答 希望する施設が満床の他、多床室を希望していることなどが挙げられる。

問 紙おむつの支給対象や支給内容を見直してほしいが、市の見解は。 答 利用者の声や他の自治体の動向など注視していく。

その他の質問 安心して障害児が暮らせるために

上尾駅周辺の自転車置き場について



池田 達生 (日本共産党 上尾市議会議員)

くんの路線から離れている人が多数いるにも関わらず、「駅には自転車で来るな」「バス便はない」ということでは、どうすればよいのか。年末年始を迎え、買い物をする市民に苦痛を与えていることになり、商店街の衰弱にもつながる。駅近くに市独自の駐輪場を設置すべきと考えるが、見解は。

問 11月8〜15日に、JR上尾駅周辺の放置自転車の一斉撤去など、強化対策が実施された。実施後の状況は。 答 これまでのような放置自転車の状況は大幅に解消され、条例の趣旨でもある良好な生活環境の保持に向けて整備されつつあるものと認識している。

問 これは、一斉に撤去しているから放置自転車がないということである。今回の強化対策の周知で広報あげお11月号では、「駐輪場がない場合は、徒歩やバスなどの公共交通機関を利用するなど、自転車を使わない方法を考えてください」と案内している。ぐるっと

その他の質問 戸崎公園、鴨川中央公園、ゆりが丘公園改善

その他の質問 都市計画道路・西環状線の現状と事業化

その他の質問 台風19号の被災者救援、避難所

子どもたちに豊かな未来を



糟谷 珠紀 (日本共産党 上尾市議会議員)

育所連絡調整会議で協議を重ねている。

問 NPO法人あげお児童クラブの会から保育料の値上げについて保護者宛てに通知が来たが、事業を実施するのは市であり、保護者に保育料を転嫁するのは間違っていると考える。放課後児童健全育成事業の責任の所在はどこにあるのか。

問 値上げを避ける方向での協議なのか。 答 今、そのことについて検討している。

その他の質問 20年後の上尾市を見据えて



3月定例会日程(案)

- 2月20日 開会
- 26日 質疑、予算特別委員会の設置、委員会付託
- 27・28日、3月2・3日 予算特別委員会
- 4日 委員会 (総務、都市整備消防)
- 5日 委員会 (文教経済、健康福祉)
- 9日 予算特別委員会
- 10~12日、16・17日 一般質問
- 23日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動 R1.10.16 ~ R2.1.15



▲文教経済常任委員会の審査



▲健康福祉常任委員会の審査

*3月定例会は、2月20日(木)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、2月14日(金)までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 矢口 豊人
- 副委員長 戸口 佐一
- 委員 田島 純
- 委員 原田 嘉明
- 委員 轟 信一
- 委員 井上 智則
- 委員 樋口 敦
- 委員 戸野部直乃

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	12/12 1/9	・12月定例会提出議案6件、請願1件を審査 ・正副委員長の互選
文教経済常任委員会	12/13 1/9	・12月定例会提出議案4件を審査 ・正副委員長の互選
都市整備消防常任委員会	12/12 1/9	・12月定例会提出議案6件を審査 ・正副委員長の互選
健康福祉常任委員会	12/13 1/9	・12月定例会提出議案6件を審査 ・正副委員長の互選
議会運営委員会	12/6~24 1/9	・議会運営について協議(協議回数6回) ・正副委員長の互選および議会運営について協議(協議回数3回)
議会改革特別委員会	10/28 12/4	・政治倫理条例について ・議会改革特別委員会報告書および委員長報告について
小敷谷地内フェンスブロック擁壁撤去・新設工事の経緯に関する調査特別委員会	10/24・25 11/1 11/11 12/6・20	・証人喚問について ・記録の提出について ・調査結果についてなど ・調査報告書についてなど
議会報編集委員会	10/16 12/3 12/11 1/9	・「あげお議会だよりNo.191」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo.192」の内容について協議 ・「あげお議会だよりNo.192・193」の内容について協議 ・正副委員長の互選および「あげお議会だよりNo.193」の内容について協議

—意見書2件を原案可決—

12月定例会最終日の12月24日、議員提出議案として意見書2件を提出し、可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆自動車関係諸税の抜本見直しを求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 経済産業大臣 国土交通大臣
環境大臣 衆議院議長 参議院議長

◆加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的助成制度の創設を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長